

令和7年度 第4回君津地区公民館運営審議会 会議録

開催日時 令和8年3月19日（木）午後2時30分から午後4時30分まで

開催場所 君津市八重原公民館 ホール

議題等 1 令和7年度事業について
～令和6年度答申を受けての成果と課題～
2 公民館使用料について

出席委員 田浦定一、増田久美子、伊藤亮、鈴木政一、渡邊綾美、馬場ミヨ、
水口純子、古谷有佳、山口幸代、高橋勝巳

欠席委員 高橋新司、岩鼻方美

出席職員 君津中央公民館 平野館長・布施副主幹・矢島主任主事
八重原公民館 隅田館長・三枝副主査
周西公民館 笹本館長・中村副主査
周南公民館 飯泉館長・平島副主査

公開または非公開の別 公開 ・ 非公開

傍聴者 1名（定員 6名）

1 開会（進行 君津中央公民館 平野館長）

2 委員長あいさつ

年度末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。君津市の財政はまだ冬ということでなかなか春が来ないようですが、春が来ない冬はないと昔から言いますので、いずれまた君津市の財政も春を迎えると願いつつ、公民館活動が冬とならないよう、常夏のような公民館活動が継続できるよう、いろいろな面で意見を言っていただければと思います。よろしくお願ひします。

3 八重原公民館長あいさつ

4 報告

（1）公民館の開館時間、休館日について

—事務局より説明—

委員長

この件について皆さんからご質問等あればお願いします。

(質問無し)

すでに何度かこの話題には触れてきて特になかろうかと思しますので。では次の令和8年度の運営体制について、説明をお願いします。

(2) 令和8年度の公民館運営体制について

—事務局より説明—

委員長

質問ございますか。

委員

令和7年に比べ予算が減っている理由、なぜこんなにも減ったのかを教えてくださいと思います。

事務局

公民館だけが特化して予算がつかなかったわけではなく、全庁的に予算の在り方を見直した結果このような予算配分になったということです。君津市の財政があまりよくないと言われており、事業の見直し、やり方を改善した結果、このような予算になったという事です。各館、頭を絞り例年より早くから時間をかけて予算協議をしてきましたが、力及ばず、また他の優先事項もあり、このような形になりました。全庁的に予算が削られたということは、ご承知いただければと思います。

委員長

私が答えるべき事ではないとは思いますが、私が知っている範囲では、令和8年度の中で旧大和田小に大学が誘致されます。それに対し市から8億円の交付金が出ることになっています。それが令和8年度に交付されるものなのかどうか、予算委員会に傍聴に行きたかったのですが日程が合わず行っていないのですが。あとボールパークについては、総事業費が150億円と聞いています。いつどれくらい執行になるのかわかりませんが、まだ準備段階で用地買収の段階かと思います。私は自治会長もやっているのですが、昨年秋、市民生活課長から話があり、「総じて概ね1割の予算削減になるので、市政協力員の報酬も1割削減させてもらいたい」という話がありました。全体的に1割削減になるのかと思ったら、今これを見たら1割ではないようです。恐らく予算の中でも今までなかったところに、大学やボールパークなどが入ってきて、個人的にはそれは仕方ないとは思いますが。将来それが君津市の財政を冬から春にする要因になってくれればいいことですし、どこかでやらなければならないなら。あとは恐らく小中学校も含めた教育委員会の予算の中の公民館予算なので、そうなる小中学校の子どもたちの予算を削るわけにはいかないということも働いているとは思う。的を得ているかどうかはわかりませんが、私が知りえた範囲ではそんな話は耳に入ってきています。

他にご質問ございますか。

事務局

もう一点報告です。この4月から自治会回覧が月1回となります。公民館だよりもが世帯配布から回覧になり、事業のちらしも今までのように手厚く配布することができなくなる可能性があります。周知について良いお知恵がありましたら委員の皆さんにも考えていただきたいと思います。

委員長

他に質問はございますか。

事務局

予算については案ですので最終確定ではないのですが、今回の予算構築については、まず公民館だけピンポイントで削減されているのではありません。その背景について関係の部署に、市がどういう状況にあるか聞いてきました。傾向として市の予算というのは単年度で突然大きな変動があるわけではないということです。近年の状況でみますと令和元年の台風災害、その後コロナもあり、公民館の事業展開にも影響がありました。当然人口も影響していますし、市の収入等にも影響がありました。コロナが明けて通常業務に戻しつつある中で、老朽化対策、インフラ整備にお金がかかるということと、この間ご存じのように光熱水費等をはじめ、人件費が軒並み上がっております。そのあたりの影響もあって市全体で金額の調整を図っている、その中で公民館についてもこのような状況であることをご報告します。

委員長

それでは報告事項については以上とし、議題に入らせていただきます。

5 協議

(1) 令和7年度事業報告（令和6年度答申を受けての成果と課題）

委員長

各公民館からの報告をお願いします。すべての報告を終了した後、まず質問をお受けします。その後委員の皆さんに一言ずつ感想・意見をお願いしたいと思います。

—各公民館資料に基づき説明—

委員長

報告いただいた内容で質問あればお願いします。

(質問なし)

質問がなければ、皆さんからひと言ずつ感想、ご意見を伺っていききたいと思います。

委員

今年度初めて校長会としてこの審議会に参加させていただきましたが、公民館の取組を知ることができ改めて頭が下がる思いでした。本校はコミュニティスクールということで

青少年健全育成協議会を発展的に解消して、公民館と学校で力を合わせ、地域をつなぐ核になろうという取り組みを始めているところです。学校としても公民館が助けてくれますし、地域の人も学校を知ることができる、とてもいい取り組みだなと公民館にも感謝しております。ただ、今年周西小の1年生は56名しかいないんですね。今本校は1学年80名くらいなのですが、こんなに減っていくのかと。周南小の今年の1年生は40名くらい。清和小については、該当する児童がおらず卒業式・入学式がないという状況です。このまま同じことを続けていくことに危機感を感じています。何とか、学校と地域がつながりコミュニティを作っていければと思っています。

委員

周西の丘小学校の位置が大和田から坂田になって、人見の奥の人たちが通うのが大変になって、周西小に通うという児童もいるようです。その地域だけでなく、学区外から入れてもらっているそうです。子どもが少なくなったことは肌で感じています。周南公民館の親子で地元散策の事例がありましたが、周西公民館区は地元より引っ越してきた人、よそ者が多いんですね。地域をよく分かっていない方も多いだろうし、九州と千葉では違うと思うので、もう少し交流ができるような気がします。周南公民館の地域探検は素晴らしいと思いました。

委員

高校生の親として、君津高校との連携事業が素晴らしいと思いました。君津高校は教育指導者を育てるコースがあるので、お話を聞いて、その生徒たちをもっと活用出来たらいいなと思いました。君津中央公民館でのテスト期間中のフリースペース提供も、夜若い人が一生懸命勉強しているのを見ると、無料のスペースをもっと活用してもらいたいなと思いました。高校生・受験生にとって無料の勉強場所を確保することが大変みたいで、それを提供しているのは素晴らしいなと思ったので、他の公民館でもやられたらいいかなと思いました。

周南から周西に引っ越した者として、周西地区は公民館の活用が少ないと感じていたので、公民館でいろいろなことをしているよ、というのをもっと広げられたらと思いました。

委員

各館の一年間のいろいろな企画を見て、みなさん頑張ってくださいっているなど。地域に住む者としてはアクティブシニア層になりかけているので、利用するだけではなくて、その地域の小中学生や高校生など、若い人たちに働きかける大人になりたいと感じました。予算が減ってきていること背景には人口減もあると思うので、皆が楽しく、この地元に帰ってきたいと思える市になれるように、自分も活動しながら、地域の子どものために何かお手伝いができるような活動を自分たちもしていきたいと思いました。

委員

八重原公民館は不便だと感じています。高校生が集まるには遠い、小中学生は外で遊ぶことはできるけれども、という地域で、日中は高齢者の方がサークル利用しているというイメージが強いです。今年1年の事業報告でも、アクティブシニア層をメインにやられているので、家庭教育学級は通年でできたということでしたが、若い子育て層にもう少しできることが今年できたらという願いがあります。八重原地区は4小学校、2中学校あり、難しい地域

になっています。先日地域づくり協議会の準備会キックオフにも参加したのですが、国道を分けてあっちとこっちという状況になっているので、地域づくりがうまくいくと良いと思っています。

委員

福祉分野の立場からの話になってしまうのですが、施設が郡にありまして、福祉という部分ではまだ調べていないことが多いのかなという事もあります。各公民館の多方面にわたる活動、地域のつながりもとても素晴らしいと思いました。また戦後80年ということで、今回君津中央公民館に事業所の作品が飾られて、それを見た利用者と保護者も喜んでいました。そういった小さな成功体験の積み重ねが、地域の方とつながるところでは大切にしていきたいと改めて思いました。予算案がかなり減ってしまっているということでは、去年もお話がありましたが防災や修繕など、思いや課題があるかと思いますが、地域と福祉が連携できたらとの思いもあります。

また、君津市内少子化がかなり進んでいるのかなと。次男が北子安小6年生で卒業しましたが20名ちょっとでした。次女が4月で一年生ですが20名と少し。クラスがさみしいなと思います。福祉も人手不足は世間一般の課題ですが、市内で福祉をアピールして興味を持っていただけるような取組を公民館と一緒にやれたらと思います。来年度も引き続きよろしくをお願いします。

委員

予算が減るとのことですが、職員も減っていると聞いています。予算が減る中で職員がこれだけの事業やるのは少ない人数ですごく大変だろうかと、一番苦労しているのではと思った次第です。八重原地区は広いので、自治会が27あります。全部あるかわかりませんが、かなりのところが自治会館を持っているので、公民館だけでなく自治会館をもっと活用していただけたらと思います。自治会長をやった経験から、自治会館の稼働率は低いと思っています。立派な自治会館でも利用はそんなにしていないということもあるので、もっと連携してやっていただけたら。自治会館までなら歩けるけれども、公民館までは歩いては行けないんです。近い自治会館をうまく利用するような企画をもっと作ってやっていただければいいなと思いました。目を引いたのは、周西公民館の「ひだまりひろば」です。ちらしを見て楽しそうで、こういうのはいいなと思いました。

委員

審議会委員という役目をいただいて、それまであまり公民館を利用してこなかったのですが、去年は積極的に公民館の事業に参加するようになりました。周南のいろんな地区を探検するなど公民館職員の方々がいろんな企画をしてくださり、事業をサークル化して皆がつながれるようにしてくれました。非常に感謝していて、素晴らしいなと思いました。子どもたちも結構利用していて、そういう姿を見ていると、いい大人にならなきゃいけないなという気持ちにもなったというのがこの一年間の感想です。もっとよい公民館にしていけるように、意見を言えるように、この会には参加していきたいと思います。ありがとうございます。

委員

前回お約束した、君津中央公民館の年度内の事業実施を達成されたようでよかったなと感じました。回覧で回ってきた時点で、一生懸命考えてやってくださったんだなと思っていました。写真も見させていただき、充実した内容で参加者もいて、やれたことがよかったなと思いました。今後も継続してやっていっていただけたらと思います。

各館予算・人数が減って、時間も限られた中で、課題や今までのつながり、答申を受けてのやらなければならないことの中で、細やかに考えていただいているのがよくわかる報告だったと思いました。各館が頑張っていることはよくわかったのですが、特に目立ったのが、八重原公民館が人数を集めていると思いました。前回もどのように宣伝しているかお聞きしましたが、関心のある内容をやっているということもあると思いますが、周知の仕方は大事なのかなと改めて感じました。周西公民館のひだまりひろばは、茂原の方の道の駅だったか、こういった活動をやっている事例と似ているなと思いました。そこは犬も入ることができてカフェもあって、自由に参加していいよというところでした。周西公民館も発展して自然と集まれる場所になればと思います。

八重原地区は道路を大きくまたいでいるということですが、今日公民館に来た時、奥のギャラリーは空いていました。高校生に、勉強するのに使っていいよと大きく宣伝したら、自然と人が集まる公民館になるのかなと思います。近くの飲食店で働いていますが、高校生が2時過ぎからたくさん来るので、もし公民館も開放しているとわかったら来るのではと思います。また来年度もよろしくをお願いします。

委員長

ご報告いただいた各館の報告について、ご了承いただける方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

ありがとうございます。それではこの議案については了承をいただいたということで、いったん休憩を取らせていただきます。

～休憩～

(2) 公民館使用料について

委員長

公民館使用料について、事務局から説明をお願いします。

事務局

今日は君津中央公民館の職員として、皆様と一緒にアンケートに寄せられた皆さんの考え方をご説明しまして、寄せられている意見から公運審として料金をどのように考えていくかを一緒に話し合いながら、考えを深めたいと思っています。

このアンケート結果を見て、皆さんがどう思うかご協議いただきながら、お答えできることについては情報提供させていただき、考えを深めていきたいと思っています。

利用料金について賛成・反対色々な意見があります。その中でどれが正解か一つに絞って

いくのはとても難しいです。また、使う側からすると無料がいいということもあれば、このような状況なら負担は仕方ないという人もいます。予算や少子化の問題、将来の地域づくりへの展望など、いろいろな要素も絡んできますので、その中でどのような思いをどのような考えとしてまとめていけるかということ、ご意見をキャッチボールしながら皆さんと考えたいと思います。もちろん市として受益者負担の原則を進めていきたいということについてはお示ししている通りです。単純に良い・悪いではなく、このような考えでこういう風にしていったらよいのではないかということで、皆さんからのご意見を頂ければと思います。

—資料に基づき説明—

委員長

結論が出るものではないとの説明だったので、皆さん感じるところを自由に、一言ずつご意見をいただけたらと思います。

委員

結局市の考え方なのかなと思いました。どちらにしてもメリットデメリットはあるので。継続不可能で老朽化で維持困難なら有料化すべきかと思いますし。市民の活動を市がどう捉えるのかということで、判断すべきことではないのかなと思います。

委員

使う側としては無料が最高ですけれども、こういう話が出たということはやはり財源がない、お金が足りないということで出た話だと思うので、それをきちんと説明して、有料化に話を持っていった方がいいと思います。皆わかっているところはあると思うのですが、使う側としては無料を言いたいですよね。そこをなだめるのは、現実をきちんと説明して、納得してもらうようにすべきです。使う人が少なくなるというのは別の話で、使いたい人はお金出しても使うと思うし、必要かどうか選択できればいいと思うので。有料化で納得させたほうがいいと思います。

委員

同じ意見で、できれば無料でいてほしいけれども仕方ないと思っています。子どもたちと高校生が利用している場所でもあるので、高校生以下は無料を保ってほしいと思います。

委員

光熱費・人件費の値上がりで有料はやむを得ないのかなと簡単に考えていたんですけども、今日いただいた資料の中で、社会教育とはどうあるべきなのか。先ほども「願い」という事をおっしゃっていましたが、この一年で公民館ができた由来も講演で教えていただいて、なぜ公民館が無料なのかを学習させていただきました。でも現状、物価高や財政難ということもあり。自分の中でどう答えていいかわからない状況です。君津市がどういうものを目指したいのか、というのがあると、そういう願いだから市民としても有料にしようね、もしくは無料を続けるなら丁寧に使おうね、となれるし。そういうところがもう少し見えると市民としては「ならば」と、どっちに行っても答えを出しやすいと思いました。ただ予算が

ないとか、光熱費が高い、だけでは皆が納得しないのかなと、アンケートをみて感じました。

委員

できたら無料がいいですが。利用していくうえで維持費を考えると使用料を取ってもいいのではと感じました。意見を読みましたが、すごいですね。いろいろな意見があつて。こういうことを思う人がいるのだなと納得してしまうこともありました。無料がいいけれど、仕方ないかなと思います。

委員

幅広い年齢層と意見があつて、全部をくみ取っていたらまとまらないということも皆さんわかんと思うし、変化を嫌う方も多いのかなということ踏まえると、何が正解かということはありませんが、市としての方向性、説明する義務をしっかりとされていけばいいのかなと。福祉分野から言うと、減免があればありがたいなということもあります。それを踏まえて、有料・無料だけでなく、歩み寄るところがあると良いのかなと思います。

委員

アンケートの最初に回答者の比率が出ていますが、回答者の比率はきっと公民館を利用する人の比率に近いのかなと思って見ていました。60代以上の方がほとんど使っていて、関心がないのか、若い人ほとんど使っていないようです。利用者としては認められていないような感じを受けました。子どもたちは大人がいないと借りられないので、この中には子どもたちが入っていないのではないかと。先ほどの、子どもたちは無料にしたらという意見には同意です。子どもたちは自由に使っていていいと思う。

活動内容によって有料・減免する活動もあると思うので、指針をつくれれば有料でいいのかなと思います。子どもたちは自由で無料でいいのではと思います。あとは市の方でこうだと決めればそれでやっていただければと。有料にしたからと言ってその金額が莫大になるとは思っていないで、予算の中の一部になるだけで、それで十分賄えるとは思っていない。どちらでも良いからきちんと市で指針を決めてやっていただければよいのではと思っています。

委員

有料がいいとずっと思っていました。維持するのに、安全に使えて・衛生的に使えるならお金がかかると思うので、有料は当然かなと思っていました。でもこの反対意見を読んだら、そういう考えもあるのかなと思いました。それと子どもたちは自由に使えたほうがいいのかなと思っています。

委員

私は無料がいいですけども。皆さんおっしゃるように、有料にする必要性の理由をしっかりとわかりやすく、隠すことなく伝えていただけたら、皆さんが納得して有料で気持ちよく使えるのではないかなと思いました。公民館の必要性やつながりの大切さ、公民館に人がいっぱい来てほしいという活動をしている一方で、利用しない人はもちろんいて、自分たちには関係ないということもあると思うのですが、今後使うこともあるかもしれないし、来てほしいという思いもある。そういう部分も含めてしっかり説明と、料金の設定をしていただきたい

と思っています。もちろん子どもは無料で使えたらいいと思っています。料金を設定する上で、有料にしたにも関わらず質が落ちたということのないように意識してやってもらいたいと思います。

委員長

ありがとうございました。評決を取らないということなので一言感想・意見を述べさせていただきますのですが、公共施設は公民館だけではなくて、市民体育館やほかの施設もあり、そこは料金が発生するんですよね。一部減免はあるけれども、基本的には市民体育館は1時間単位で利用料金を取っていると思います。小中高大学で、各地の市民球場や体育館などよくお借りして色々な大会をやるんですけれども、市によってまちまちですが市民は無料、でも同じ高校生でも市外者はお金をもらいますと。私も高校で大会の運営側にいましたが、市の協会が関わるということで減免を認めてくれる市もあれば、実質的に市外の高校生が多いなら料金をいただきますというところもありました。公共の施設だから無料にしてほしいという意見は難しいのかなと感じていたところです。

ただどの程度の料金徴収を見込んでいるのか、当然質問として出てくるのかなど。公民館が継続的持続的に利用者が減らず増えていけるような、誰もが納得できる程度の高額ではない利用しやすい料金設定をお願いしたいと思いました。あとはやっぱり説明の仕方。どういう資料を用意するかによって受け取る側の印象も全然違ってくると思います。これを見ても、すごく高い料金を取られるのではと思う人もいれば、施設を改修するための費用だったのかなりの料金になるはずだから、という発想になる人もいると思います。そうではなく受益者負担として電気水道代、その他清掃用具程度の購入費であると、その範囲で料金を徴収させてもらうということになると、それなら至極当然だよなと考える人が圧倒的に多いのかなと思います。そこまで無料にする必要はないのではと思う方は多いと思うので、そのあたりを制度設計のところでしっかり議論してほしいと感じます。

事務局

ありがとうございました。今回のテーマ、私が行政の生涯学習課の事務局職員とすると、案として料金をお示しします、どうでしょうかと意見を聞くのですが、ここは教育機関なんですよ。教育機関というのは、様々な人たちが集まって色々なことを考えあう場所。ですから今日もどれが正解か反対かということ事前に用意して、それを皆さんに流すつもりで来ているのではないんですね。賛否両論いろいろある中で、数多ある公共施設のなかで教育機関としてこのテーマをどう考えるか。もちろんとても大きなテーマなので、今日一回では全然話し尽くせないと思いますし。先ほどのご意見を聞いていましたら、たとえば公民館の由来を聞いたら複雑な思いもあると。あるいは現実的に経費もかかっているから、そこは説明をして理解を求めべきだという意見。その時に重要なのが、いろんな公共施設がある中で、さて公民館とはどうなのかというところを、意見交換をして考えを深め合えると、行政の方にも説明がしやすくなると思いますし、色々ヒントになるかと思っています。

今後も引き続き、ご意見をいただきたいと思います。たとえば一つの例ですが公民館って何だろうか、公共施設って何だろうか。先ほどから無料という言葉が出ていますけれども、これは完全に無料ということではなく、市民の皆さんの貴重な税金をいただいて運営している。直接来る方もいれば来ない方もいる。その点をどうするか、というテーマ。あと減免について、子どもたちは無料でとのご意見もあれば、減免をするとその手続きをするための

職員の手間もかかるという事実もあります。もちろん一つ一つ全て調べ上げて結論を出すということは不可能ですけれども、少なくとも、公民館って何だろうかということ、経済状況とか諸々の考えの中から、ベストとは言えないまでもこれがベターではないかという考えを、もちろん行政も一生懸命考えますけれども、ぜひ皆様からお力添えいただいて、様々な角度から議論いただければと思います。実例で、とあるところではこのような議論を経て、公民館は無料を維持しようという結論を出すところもあれば、やはり料金のある程度いただくといった結論を出すなど色々なパターンがあります。私の方でも色々調べていきたいと思います。

あと、公民館運営審議会だけではなく社会教育委員の皆さんからもご意見をいただいております。皆さんからは、「ぜひ学習をしていきたい」とのご意見をいただいております。公民館とは何だろうか、厳しさの中でどういった方向性を見出して、将来に向けて無料・有料ありきではなく、ビジョンを含めて勉強しながら、考えを紡ぎあっていきたいとのご意見をいただいておりますので、学習会を企画しましたら。皆さんにもお声がけさせていただきます。今日は大変貴重なご意見をありがとうございました。

委員長

公民館使用料については意見をいただくということで賛否は取りませんので、以上で終了します。予定された議題は終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。

事務局

その他として、2点ほど連絡します。今後の審議会の予定ですが、5月に第1回を生涯学習交流センターにて予定しております。調整して早めにお知らせします。

君津地方公民館運営審議会連絡協議会の総会ですが、6月を予定しております。木更津市が3月末で公民館がなくなることに伴い、木更津市の公民館運営審議会委員も解職となります。よって、この協議会から脱退するとの連絡を受けています。6月の総会時点で袖ヶ浦、富津の3市で運営していくこととなりますので、ご承知おきください。4月に役員会・理事会等開催されますので、また現状を報告します。

6 閉会